

2部昇格を決め原監督を胸上げる選手ら（今井和樹撮影）

東都大学野球

悲願の 2部昇格

ついに2部の壁を越えた！東都大学野球2・3部入れ替え戦が11月10、11日の両日、東京・明治神宮球場で行われ、3部リーグ優勝の本学は2部最下位の国士館大と対戦した。本学は1回戦を3-1、2回戦を4-0で連勝し、2部昇格を決めた。本学が東都大学野球連盟に加盟した2022年以来の悲願で、22年秋、24年秋と、これまで2度入れ替え戦に駒を進めたが、いずれも国士館大を相手に涙を飲んできた。原克隆監督は試合終了後、「選手たちの勝ちたいとの思いが相手より強かったのが勝因。次は2部優勝を目指す」と来季に向けた抱負を語った。

TEIKYO
HEISEI
Sports
Journal 号外

▽1回戦Ⅱ後攻

11月10日 1-3

1点を追う3回裏、2死二塁から1番伊東（洸）の中越え二塁打で1点を返し同点とする。6回裏にも2番前本の右越え三塁打、4番木戸脇の左前打で1点追加、8回裏には1死三塁から5番小原（翔）が一塁前にスクイズを決め、貴重

な追加点を上げた。投げては、エース三輪が相手打線を6安打1点に抑え、完投した。

▽2回戦Ⅱ先攻

同月11日 4-0

両チームとも得点できない緊迫した試合展開のなか、本学は7回表、2死から三塁への内野安打で出塁した7番渡部が盗塁、8番井田の打球を三塁手が一塁へ悪送球する間に渡部が生還し、1点先制。さらに、9番西が四球で出塁、井田が三盗を決めて2死一・三塁とすると、1番伊東（洸）が左中間のラバーフェンス直撃の二塁打を放ち2点を追加。9回表には、1死二塁から1番伊東の右越え三塁打で1点を追加し、ダメ押しした。投げては、先発の亀田と中継ぎの武田が相手打線を4安打散発に抑える完封リレーを見せた。

◆
今季は、リーグ戦開幕に先立って行われた同野球連盟内交流戦で1部の中央大に勝利。余勢を駆って、3部リーグ優勝、2部昇格まで走り抜けた。チームを引っ張ってきた井田駿吾主将は、「素直にうれしい。3年間やってきたことが実った。今後は、決定力を高めるなど課題を克服し、さらなる高みを目指す」と語った。



大正大戦 2 回戦 7 回と 3 分の 1 を好投した三輪投手（野村彩乃撮影）



大正大戦 2 回戦 4 回裏 1 死二塁、阿部が中越三塁打を放ち、2 対 0 とする（今井撮影）



大正大戦 2 回戦 2 回裏 1 死 3 塁、阿部の 2 塁ゴロと野選で 3 塁走者の熊谷⑤（左）が生還。帝京平成大が先取点をあげる（野村撮影）



学習院大戦 2 回戦で打席に立った 1 番伊東(洸)（野村撮影）

東都大学野球 2 部への歩み	
1990 年 4 月	硬式野球部発足 千葉県大学野球連盟所属
2022 年 1 月	東都大学野球連盟に 22 校目として加盟
春季 4 部リーグ	優勝 入れ替え戦勝利で 3 部昇格
秋季 3 部リーグ	優勝 入れ替え戦敗戦で 3 部残留
2023 年	春季 3 部リーグ 2 位
秋季 3 部リーグ	2 位
2024 年	春季 3 部リーグ 3 位
秋季 3 部リーグ	優勝 入れ替え戦敗戦で 3 部残留
2025 年	春季 3 部リーグ 3 位
東都大学野球連盟交流戦(8 月) 1 部中央大に 7-6 で勝利	
秋季 3 部リーグ	優勝 入れ替え戦勝利で 2 部昇格



表彰式で優勝旗を受け取る井田主将

リーグ優勝、入れ替え戦勝利で悲願を達成した
本学ナインの今季の戦いぶりを振り返った。
リーグの戦績は 10 勝 2 敗、勝ち点 5 だった。

第5週

対大正大戦 2 勝 1 敗

▽1 回戦 10 月 13 日 ● 8 12

千葉・ゼットエーボールパーク

本学は 1 回表、1 死二、三塁から 4 番木戸脇のライトへの犠牲フライで 1 点先制、3 回 1 点を追加。4 回裏に 1 点を返され 1 点差とされると、5 回表、1 番伊東(洸)のタイムリー三塁打などで 2 点を追加し、突き放しにかかったが、その裏、4 点を献上。7 回には大量 7 点を許した。9 回表には 3 点を入れたが、力尽きた。

▽2 回戦 10 月 12 日 2 4 ○

同球場

本学は 2 回裏、1 死三塁から 8 番阿部の打球を相手二塁手が野選し、1 点先制。4 回裏には、1 死二塁から 8 番阿部のセンター越えの三塁打、1 番伊東(洸)のセンターへの安打などで 2 点追加。6 回にも、2 死二塁から 1 番伊東のレフト越えの二塁打で 1 点を加え、追いつがる相手を振り切った。

▽3 回戦 10 月 18 日 ○ 2 0

埼玉・フラワースタジアム

本学は 1 回表、1 番伊東(洸)のライトへの二塁打、3 番三塚のセンターへの二塁打で 1 点先制した。2 回には、2 死三塁から 9 番井田のライトへのヒットで 1 点を追加した。その後は追加点を挙げられなかったが、エース三輪が相手打線を散発 5 安打に抑え込み完封した。

第4週

対順天堂大戦 2 勝

▽1 回戦 10 月 23 日 2 10 ○

千葉・ゼットエーボールパーク

本学は 2 回裏、1 死満塁から 8 番井田のレフトへのタイムリー安打や押し出し、1 番伊東(洸)のライトへの犠飛、敵失などで 4 点を先制。6 回表に 2 点を返されたものの、その裏、8 番井田の右中間への三塁打や 2 番前本のライト前安打、3 番三塚のライトへの犠飛などで 2 点を追加し、8 回裏には、2 番前本の 2 点本塁打や、3 番三塚、4 番木戸脇、5 番齋藤の連続二塁打などで 4 点を加え、ダメ押しした。

▽2 回戦 10 月 5 日 ○ 8 6

東京・学習院大学グラウンド

3 点を追う本学は 7 回表、1 死一・二塁から 2 番前本がレフトに 3 点本塁打を放ち同点。敵失や四球などで 1 死満塁から 6 番熊谷のレフトへのタイムリーヒットで 2 点を追加。この回一挙 5 点で逆転し、8 回表にも 1 点追加するなど、追いつがる相手を振り切った。

第3週

対学習院大戦 2 勝

▽1 回戦 9 月 20 日 1 2 ○

東京・学習院大学グラウンド

本学は、3 回裏、1 死二塁から 1 番伊東(洸)のライトへのタイムリー二塁打で 1 点先制。8 回裏にも 2 死二塁から、3 番三塚がセ

ンターにタイムリー二塁打を放って 1 点を追加した。

9 回表には 1 点を返され、2 死一・二塁からセンター前にヒットを打たれたが、

センターのホームへの好返球で追加点を阻止した。

▽2 回戦 9 月 21 日 ○ 13 9

同球場

2 点を追う本学は、6 回表に 1 死三塁から敵失で 1 点を返し、その後、1 死満塁とすると、4 番木戸脇のレフトへのタイムリー安打。5 番齋藤のライトへの二塁打。6 番熊谷のセンターへの二塁打でこの回、一挙 6 点を入れ、逆転。7 回にも 2 点を加え、快勝した。

第2週

対上智大戦 2 勝 1 敗

▽1 回戦 9 月 9 日 ● 5 6

千葉県佐倉・長嶋茂雄記念若名球場

本学は 6 回までに 4 点を入れ優位に試合を進めていたが、6 回裏に 1 点を返されると、7 回にも 2 点を許した。8 回表に 1 点を追加したものの、その裏に 2 点の追加点を許し、1 点差に泣いた。

▽2 回戦 9 月 10 日 2 6 ○

同球場

本学は 2 回裏、2 死満塁から 9 番西がレフトへ二塁打を放ち 2 点先制。その後は無得点に抑えられたが、8 回裏、5 番齋藤のセンターへのタイムリー二塁打、6 番熊谷のレフトへのタイムリー二塁打、さらには 9 番西のレフトへのタイムリー二塁打などで一挙 4 点

を入れ、勝負を決めた。

▽3 回戦 9 月 11 日 ○ 9 3

同球場

本学は 1 回表、1 死満塁から 5 番齋藤のライトへのタイムリーなどで 3 点先制。3 回にも、4 番木戸脇のセンターへの二塁打などで 1 死二・三塁とすると、8 番井田がライトへ三塁打を放ち 2 点。さらに 2 死二・三塁から 1 番伊東(洸)のレフトへのタイムリーで 1 点を追加するなど打線がつながり、突き放した。

第1週

対成蹊大戦 2 勝

▽1 回戦 9 月 2 日 ○ 9 5

千葉県佐倉・長嶋茂雄記念若名球場

本学は 1 回表、1 番伊東(洸)の四球や 2 番渡部の犠打、敵失などで 1 点先制すると、5 番齋藤がライトにタイムリーを放ち、2 点を追加。この回 3 点を入れ、勢いに乗ると、その後も得点を重ねた。後半は得点でさえず、じわじわと点を返されたが、逃げ切った。

▽2 回戦 9 月 3 日 1 4 ○

同球場

本学は 2 回裏、8 番渡邊(侑)のライト前ヒットなどで 1 死満塁とすると、1 番伊東(洸)がライトにタイムリーを放ち、2 点を先制。7 回にも 2 番渡部のライトへの二塁打や 3 番三塚のセンター前ヒット、6 番熊谷のライトへのタイムリーなどで 2 点を加え、相手の反撃を 1 点に抑えて勝ち切った。